

ダイトロン株式会社製 オリジナル製品

IoT 分野向け
「Daitron マルチセンサー・フロントエンド・ボックス
MSFB シリーズ」 開発



※写真は MSFB 専用 エッジ・コンピューター
SWLC-01 開発用キット仕様の映像です。

このたびダイトロン株式会社は、IoT 分野向けに自社開発したオリジナル・ブランド製品「Daitron マルチセンサー・フロントエンド・ボックス MSFB シリーズ」の販売を開始。

この「MSFB シリーズ」は、1 ユニット内に異種・複数のセンサーを搭載し、センサーで検知したデータをデジタルで統合出力できる機能を持つセンサーボックス部（MSFB-02）と、最大 50 個分の MSFB-02 と接続し、それらのセンシング・データを一括受信して管理できる専用中継器（エッジ・コンピューター：SWLC-01）、および専用システム・ソフトウェアで構成される。

【特徴】

用途に合わせてセンサーメーカー各社の異種センサーを自由に選び、それらを組み合わせて 1 ユニット化。それらの個々のセンサーを最適化するアンプ・ドライブ回路、A/D 変換までをオリジナル設計し、統合データーとして出力するまでを単体で実現している。さらにワイヤレス通信モジュールと電池をボックス本体に組み込み、リアルタイムでの遠隔状態監視が可能。CPU を実装しており、簡易自己判断機能を組み込む事も可能にしている。

【ユーザーメリット】

MSFB を「置くだけ」で IoT エンジニアが監視したい実環境や異常状態の「見える化」が実現できる。複雑なセンサーのシステム化や配線作業も不要。用途としては、汎用的なセンサー単体だけでは測定が難しい特殊な環境での動作異常の検知や、さらに高い測定精度を求める顧客を想定している。

ダイトロンは 2017 年度よりメーカー子会社 2 社と合併統合し「製販融合」を掲げ、独自の商品企画力と開発力の向上を図っている。今回はその合併効果を活かして、メーカーとして長年培った半導体の高精度計測や装置化技術をコアとしたオリジナル製品企画を行い、たった半年間で開発～製品化までを実現した。「IoT の入口から出口まで」を標榜し、元々豊富な商品ラインアップを持つ強みに加え、さらに特徴あるオリジナル製品を投入し、それをきっかけに顧客に提供できる案件数を増やす独自の事業戦略を展開する。

※受注生産品の為、仕様、価格、納期、数量、サイズとも要応談。

【この件に関する問い合わせ先】

ダイトロン株式会社 営業推進部 IoT プロジェクト担当者